

88th Business Report

# 第88期 報告書

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日





ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

私は村林秀晃前社長の後任として、本年4月1日付で代表取締役社長に就任いたしました。微力ではありますが、社業の発展に専心努力いたす所存でございますので何とぞよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、ここに第88期報告書としてご報告申し上げます。

今後も株主の皆様のご期待に沿うべく努力をいたす所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 彦坂 典男

高度な技術力と高い志を持って、誇りあるDMWブランドの製品を世界に提供します。

2022年度における受注はどのような状況でしたか。

当連結会計年度における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化等による物価上昇及び欧米各国の金融引き締め、加えてゼロコロナ政策の影響や不動産不況等による中国経済の一時的な失速により、停滞が続きました。わが国経済については、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むもとで個人消費や設備投資を中心に持ち直しの動きが続きましたが、エネルギーや原材料価格の高騰、急激な為替の変動、世界経済の減速などから回復のペースは緩やかなものにとどまり、先が見通せない状況が続きました。

このような中で、当社グループの当連結会計年度における受注額は海外部門が増加しましたが、主に官需部門が減少したことから、前連結会計年度比97.2%の234億82百万円となりました。

業績はいかがでしたか。

売上高については、官需部門を中心に前年度からの受注残があり、年間を通じて工程を計画的に進めることができたことで、前連結会計年度比104.6%の238億74百万円となりました。利益については、売上高が増加したことから、営業利益は前連結会計年度比104.9%の25億45百万円、経常利益は同103.6%の26億54百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同99.7%の18億71百万円となりました。

来期以降の売上高にかかわる当期末受注残高は前連結会計年度比98.4%の246億43百万円となっています。

当期の期末配当につきましては、前期実績から2円50銭増配した1株当たり72円50銭とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は、前期実績47円50銭から2円50銭増配した中間配当1株当たり50円と合わせて、前期実績から5円増配した1株当たり122円50銭となります。

次期の見通しはいかがでしょうか。

当社グループの受注については、政府による国土強靱化基本計画として予算化された公共インフラ設備の受注を進めていきます。加えて、グローバル展開を推進するため組織改革を行い、脱炭素社会に向けた省エネルギー設備等の受注を確保して235億円を目指します。2024年3月期の連結業績予想については、売上高235億円、営業利益23億70百万円、経常利益25億円、親会社株主に帰属する当期純利益18億円となる見通しです。

今後の取組みについてはどのようなものを考えていますか。

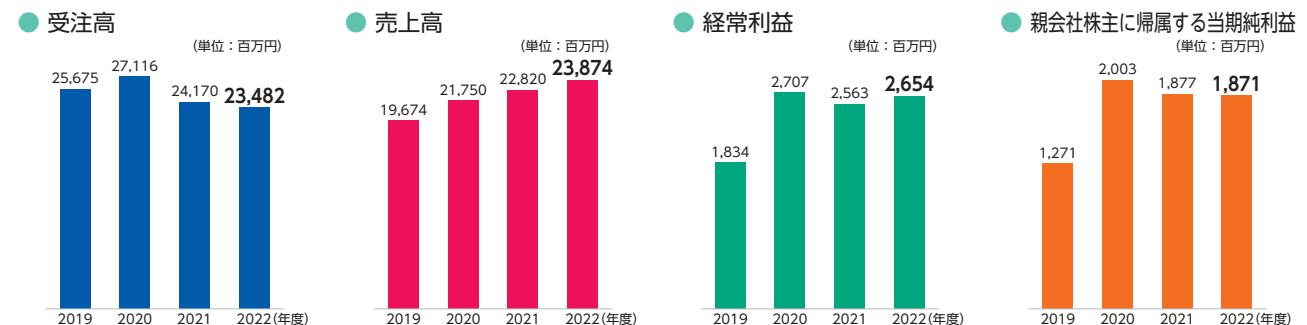
地球温暖化への対応として、脱炭素化などの取組みにより、世界的にカーボンニュートラルを目指す動きが活発化しています。当社はCO<sub>2</sub>削減に貢献できる高効率で長寿命の風水力機械を製造・販売することで、脱炭素社会の実現に寄与して

いきます。また、SDGsの取組みを通じて、環境負荷の低減による気候変動抑制への寄与、国際社会への貢献、地域社会との共存を目指していきます。

具体的な営業活動として、官需営業については、ビジネスパートナーとの連携を強化し、効率的でメンテナンス性の優れた設備計画を積極的に提案し、大型案件の受注に注力します。また、防災・減災、国土強靱化基本計画に基づく水害対策やインフラ長寿命化計画による需要など公共インフラ分野でのシェア拡大を目指していきます。国内民需および海外の営業については、納入データを活用して当社の得意分野であるオイル&ガス事業向けや海水ポンプ市場を中心とした老朽化設備の更新提案や、お客様のニーズに沿った改良・保全の提案を推進していきます。さらに、電力、鉄鋼、石油、化学分野における製造現場でのCO<sub>2</sub>削減に向けたアプローチを進めていきます。海水淡水化ビジネスについては、インド工場を活用して、エネルギー回収装置（DeROs）等のコスト競争力を高めて、高品質な当社製品の優位性をPRするとともに、拡販に注力していきます。

2023年6月

連結財務ハイライト



※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2021年度の期首から適用しており、2021年度以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した数値となっております。

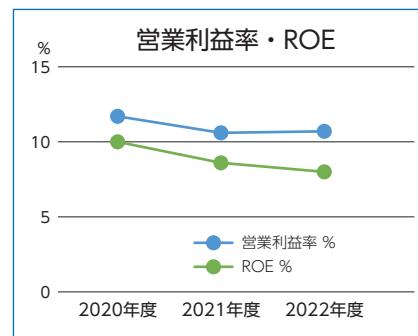
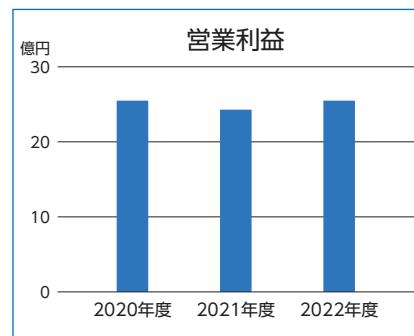
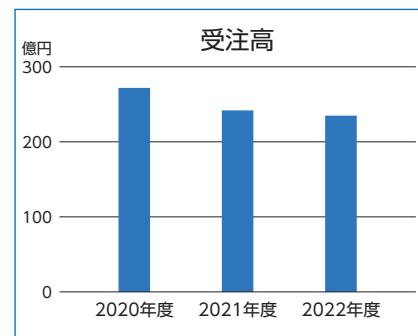
## ▶▶▶ 前中期経営計画の振り返り

2020年度からスタートし3年計画で取り組んできた「中期経営計画2022 D-Active」では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により行動制限が続いていた中でも、電業社ブランドの浸透に向け、常に新しい技術を追求し続けるとともに、お客様をはじめ全てのステークホルダーから信頼され、選ばれる企業を目指して取り組んでまいりました。

数値目標に対する実績は以下の通りとなりました。

(単位：億円)

	2022年度 連結経営数値目標	中期経営計画 2022 D-Active		
		2020年度	2021年度	2022年度
受注高	250	271	241	234
営業利益	25	25.4	24.2	25.4
営業利益率 %	11	11.7	10.6	10.7
ROE %	9	10.0	8.6	8.0



## ▶▶▶ 中長期的な経営指標と経営戦略

当社は2023年度から3年計画で取り組む「中期経営計画2025」を新たに策定しました。

本中期経営計画では“Powering Passion”『その情熱を力に。』をスローガンに掲げ、全社員が情熱を持ち、お客様や全てのステークホルダーに誠心誠意向き合って、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、目標達成を目指します。そして当社のパーパス「水と空気を通じて豊かな未来社会を創造する」に則り、サステナブルでグローバルな企業となるための、事業基盤の再構築に取り組めます。

## 中期経営計画2025



### ▶ 最重要課題と重要施策

#### グローバル事業領域の拡大

- 選択と集中によるグローバル展開
- 顧客ニーズに即応する機動的な海外営業体制
- グローバル展開の基盤となる戦略的製品の強化

#### グローバル市場に対応する生産効率の追求

- バリューチェーン効率化による生産性向上
- デジタル技術活用の推進による業務の全体最適化

#### コア事業の安定収益体制化

- 風水力機械市場でのシェア拡大
- 付加価値の最大化
- ものづくりとアフターサービスを通じた顧客課題の解決

#### 人的資本経営の実践

- グローバル人材の育成
- 安全・安心で働きやすい職場環境づくり

#### 持続可能な社会との共存共栄

- 環境負荷低減に向けたものづくりの事業体制確立
- 脱炭素社会、地域社会への貢献
- 企業グループ力の強化

### ▶ 数値目標

連結経営指標	受注高	海外受注比率	営業利益	営業利益率	ROE	配当性向
目標値	270億円	20%	27億円	11%	9%	30%



## サステナビリティへの取組み

当社グループは、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を目指すため、以下5つのマテリアリティを定め、その解決に向けた施策に取り組んでいます。

### 5つのマテリアリティ

- 1 事業活動に伴う環境負荷の低減
- 2 ものづくりを通じた顧客課題の解決
- 3 事業領域の拡大
- 4 人的資本の充実
- 5 ガバナンス体制の構築

マテリアリティ毎に進捗状況を管理する指標を定めており、今後、着実に取組みを進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### カーポート型太陽光発電設備の建設

当社では、上記マテリアリティのうち「1. 事業活動に伴う環境負荷の低減」への具体的な施策として、三島事業所本館南側駐車場にカーポート型太陽光発電設備を建設し、2023年3月より運用を開始しました。本設備の稼働により、温室効果ガス排出量を年間約34トン（三島事業所本館の年間使用電力の約18%に相当）削減が可能となります。

また、蓄電設備及び電気自動車用充電器も備えており、災害時には非常用電源として地域の皆様に開放し、利用していただく予定です。

当社は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、より一層のCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでまいります。



## 中東向けエネルギー回収装置DeROs®、ポンプ類 稼働開始

このたび、当社がサウジアラビアの海水淡水化プラント向けに設計、製作し、国内プラントメーカーに納入したエネルギー回収装置**DeROs®**及びポンプ類一式が2023年1月より稼働を開始しました。

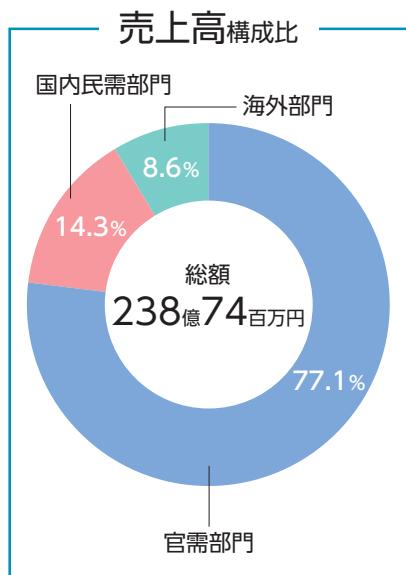
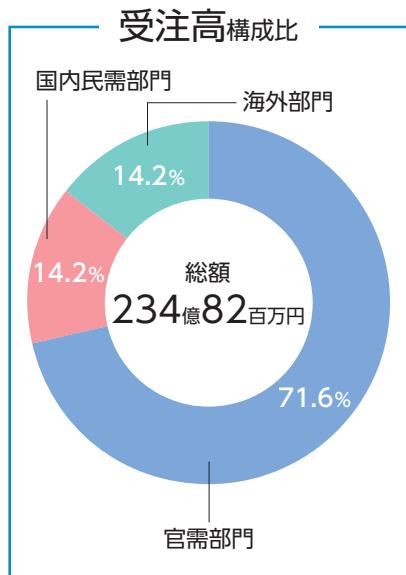
この海水淡水化プラントは、造水能力10,000m<sup>3</sup>/日を有し、国内プラントメーカーが開発した低圧多段高収率海水淡水化システムに、当社の**DeROs®**とポンプ類がパッケージで採用されました。

**DeROs®**は、世界最高水準のエネルギー回収効率と逆浸透膜供給水の塩濃度変化が非常に少ないことが特徴で、ポンプの動力低減に寄与します。ポンプ類は、逆浸透膜注水用横軸多段高圧ポンプをはじめ、14台の高効率ポンプが使用され、**DeROs®**との組み合わせにより省エネルギーかつ温室効果ガス排出量削減に貢献します。

当社はパーパス「水と空気を通じて豊かな未来社会を創造する」に則り、海水淡水化ビジネスに取り組んでまいります。今回の海外向け海水淡水化システムへの稼働実績を皮切りに、中東地域をはじめ、インド・アフリカ地域などの水問題解決に貢献していく所存です。



エネルギー回収装置DeROs®



#### 官需部門

受注高 **168億9百万円**  
(前期比89.6%)

売上高 **184億14百万円**  
(前期比112.2%)



●排水機場向け排水ポンプ

#### 国内民需部門

受注高 **33億36百万円**  
(前期比95.9%)

売上高 **34億11百万円**  
(前期比100.1%)



●発電所向け送風機

#### 海外部門

受注高 **33億36百万円**  
(前期比172.3%)

売上高 **20億48百万円**  
(前期比68.2%)



●ガスプラント向け送風機

#### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期末 2023年3月31日現在	前期末 2022年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	26,528	24,892
固定資産	7,486	7,461
有形固定資産	4,318	3,937
無形固定資産	339	332
投資その他の資産	2,827	3,191
<b>資産合計</b>	<b>34,014</b>	<b>32,354</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	9,903	9,587
固定負債	192	115
<b>負債合計</b>	<b>10,096</b>	<b>9,703</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	23,335	21,963
資本金	810	810
資本剰余金	119	115
利益剰余金	23,425	22,061
自己株式	△1,018	△1,024
その他の包括利益累計額	582	688
<b>純資産合計</b>	<b>23,917</b>	<b>22,651</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>34,014</b>	<b>32,354</b>

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

電業社機械製作所

検索

詳細な情報につきましてはホームページをご覧ください。

#### 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	23,874	22,820
売上原価	17,950	17,099
売上総利益	5,923	5,720
販売費及び一般管理費	3,378	3,294
営業利益	2,545	2,425
営業外収益	201	178
受取利息	31	14
受取配当金	85	76
雑収入	83	87
営業外費用	92	41
雑損失	92	41
経常利益	2,654	2,563
特別利益	46	56
特別損失	12	—
税金等調整前当期純利益	2,688	2,620
法人税、住民税及び事業税	815	823
法人税等調整額	1	△80
当期純利益	1,871	1,877
親会社株主に帰属する当期純利益	1,871	1,877

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

#### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,573	162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△886	△788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△523	△490
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150	△1,119
現金及び現金同等物の期首残高	5,885	7,005
現金及び現金同等物の期末残高	6,036	5,885

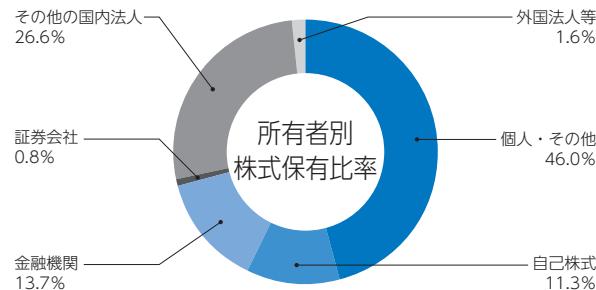
(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況 (2023年3月31日現在)

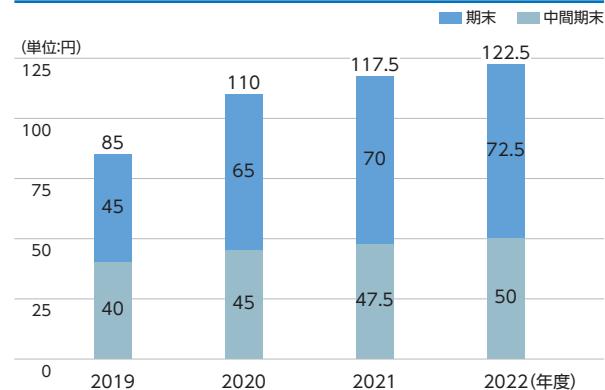
## 株式の状況

■発行可能株式総数	19,107,600株
■発行済株式の総数	4,776,900株
■株主数	3,363名

## 株主構成



## 1株当たり配当金



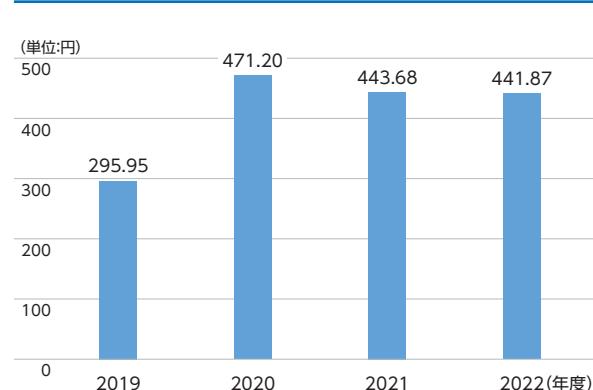
(注) 2020年度中間期末配当金の内訳 普通配当42円50銭、記念配当2円50銭

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社GM INVESTMENTS	506	11.97
電業社取引先持株会	232	5.49
明治安田生命保険相互会社	175	4.15
光通信株式会社	148	3.50
株式会社明電舎	127	3.01
三井住友海上火災保険株式会社	120	2.84
一般財団法人生産技術研究奨励会	120	2.83
株式会社三菱UFJ銀行	104	2.47
水道機工株式会社	70	1.67
株式会社鶴見製作所	65	1.54

(注) 1. 当社は、自己株式(541千株)を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

## 1株当たり純利益



# 会社の概況

## 会社概要 (2023年3月31日現在)

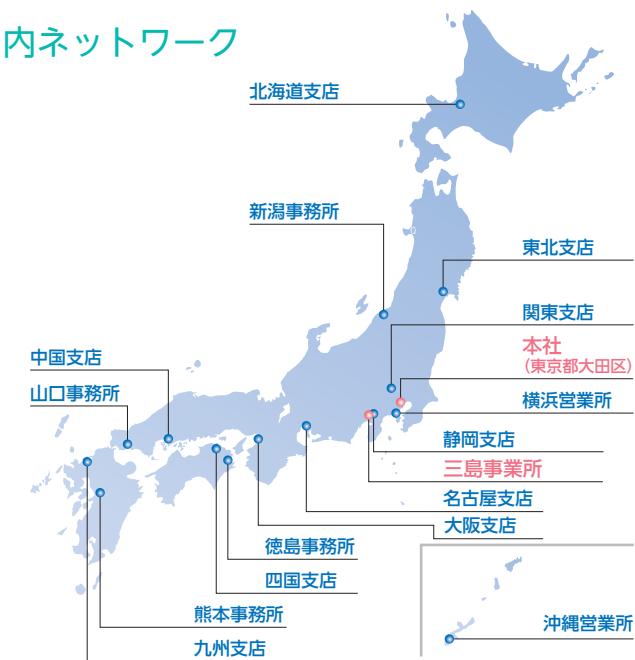
■商号	株式会社 電業社機械製作所 (DMW CORPORATION)
■所在地	東京都大田区大森北一丁目5番1号 〒143-8558 TEL 03(3298)5115
■資本金	810,000千円
■グループ従業員数	646名 (うち契約社員72名、パートタイマー39名)

## 取締役及び執行役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役会長	村林秀晃
代表取締役社長 最高執行役員社長	彦坂典男
取締役役員 常務執行役員	稲垣晃
取締役役員 常務執行役員	濱田耕一
取締役役員 常務執行役員	青山匡志
社外取締役	上地崇夫
社外取締役	杉井守
取締役 (常勤監査等委員)	山岸嗣宏
社外取締役 (監査等委員)	多田修
社外取締役 (監査等委員)	山本英男
上席執行役員	原広志
執行役員	石澤勇人
執行役員	長尾裕治
執行役員	茶原邦之
執行役員	笹川博

## ネットワーク (2023年6月29日現在)

### 国内ネットワーク



### 国内子会社

- ・電業社工事株式会社 (本社：静岡県三島市)
- ・株式会社エコアドバンス (本社：静岡県三島市)

### 海外ネットワーク

#### 海外拠点

- ・中東支店 (アラブ首長国連邦 ドバイ首長国)
- ・シンガポール支店
- ・大連事務所 (中国)
- ・米国拠点 (ヒューストン)

#### 海外子会社

- ・DMWインド社 (本社：ムンバイ/工場：プネ)

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部
- 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
- 公告の方法 電子公告により当社WEBサイトに掲載  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(各種手続き先)

1. 株式に関する各種手続き(住所・氏名の変更、配当金振込口座の指定・変更、単元未満株式の買取請求等)につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
2. 株券電子化に伴う証券会社等の口座への振替手続きがお済みでない株式(特別口座に記録された株式)に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 銀行取扱い期間終了後の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 株式会社 **電業社機械製作所**

〒143-8558 東京都大田区大森北一丁目5番1号  
TEL(03)3298-5115(代表)

## ホームページのご案内

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

当社ホームページ <https://www.dmw.co.jp/>



▲TOPページ

- 富士山ライブカメラの映像を掲載しています。  
富士山のリアルタイムの映像をお楽しみいただけます。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物インキを使用しています。